

■「最前線はまかせろー夏に鍛える 1 部 6 校のDLたち」②

勝負は試合前からー北海道大

北海道大ビッググリーンのDL陣は、収穫いっぱいの春だった。春季オープン戦初戦の6月1日の室蘭工業大戦。第1Qに佐々木優（3年）の34ヤードファンブルリターンTDで試合の主導権を握ると、第3Qには加茂英太郎（2年）がパントブロックしたボールを自分で拾い、そのままエンドゾーンまで力走して駄目を押した。50－0の圧勝劇は6TDのうち2TDがDLの得点だった。

6月14日の北海学園大戦でも佐々木が、相手エースRBをロスタックルし、QBサックも決めて21－12の勝利に貢献。7－18と惜敗した7月6日の東北大戦も、佐々木のパントブロックしたボールをLB室光毅（2年）が押さえて、この試合唯一のTDを奪った。本調子が出ない攻撃陣を鼓舞する奮闘だった。



先発DLは佐々木、古家瑳斗留（4年）、石生晶也（3年）、大熊多聞（4年）の4人。平均身長172.5センチ、平均体重96.5キロでDLとして

は小柄だが、経験十分の試合巧者ぞろいだ。DLリーダーの大熊は「上背は大きくないが、アサイメントの完成度の高さとギャップ管理が持ち味。LBとの関係も含め、試合前の準備はどこにも負けない」と胸を張る。

今春、新入生の大量入部で一時は部員が100人を越えた。19年ぶりの3ケタで、DL陣も10人体制になった。室蘭工業大戦でTDの加茂や、QBサックを決めた新井洋明（2年）などバックアップメンバーの底上げも急ピッチだ。大熊リーダーは「北大は守備が軸のチーム。2年ぶりの優勝と全日本大学選手権で北海道代表として1勝が目標。後輩のためにも北陸代表をぼこぼこにしたい」と言い切る。

佐々木は「ランはDLで全部止め、パスもDLユニットでつぶしたい。MVPも狙いたい」と力を込める。石生も「春はランを完全に封じた。秋は4年生を勝たせたい」、2年生の新井も「気合と根性でギャップを詰める。サックを決めて、ランも全部止める」と決意している。（塚田博）

【写真】

「ランはDLで全部止める」と意気込む左から新井、佐々木、石生、大熊